

上部消化管内視鏡（胃カメラ）の検査当日のながれ

① 問診

1. 受診科のスタッフの案内にしたがい、内視鏡室へお越しください。
2. 内視鏡室ではまず問診票を記入していただきます。心臓の病気の有無、緑内障の有無、前立腺肥大の有無、乳がん手術の有無、抗血栓薬や抗凝固薬（血液をサラサラにする薬）服用の有無などについて確認させていただきます。ふだん飲んでいるお薬がある方は、お薬手帳を必ずお持ちください。
3. 検査開始までなんどかお名前を確認させていただきますが、患者さんの取り違えを避けるためです。なにとぞご理解ください。

② 検査前の準備

1. 順番になったら検査室へ案内します。
2. 胃の泡を消すためのお薬を飲んでいただきます。
3. 次にのどの麻酔を含んでいただきます（3分間）。
お薬は口の中でなくのどの奥にためるのが、麻酔をよく利かせるコツです。

③ 検査開始

1. ベッドに横になっていただき、肩に胃の動きをおさえるお薬を注射します（注射はしないこともあります）。
2. 左を下にして横向きになり、エプロンをつけ、マウスピースをくわえます。
3. 両うでは胸もとで組んでおきます。
4. マウスピースを通ってカメラがのどに入ってきます。医師からの指示があれば、大きなアメ玉を飲み込むようにしてカメラの先を飲み込んでください。
5. 検査中は口にたまつた唾液を飲み込まず、エプロンに流れるままにしてください。のどに麻酔が効いていますので、うまく飲み込めず気管に入り、せきこんでしまいます。また、胃を空気でふくらませながら観察しますので、なるべくゲップはしないようがまんしてください。ゲップをすると空気を入れなおす必要があり、そのぶん時間が長くなります。
6. 検査のあいだは肩や首の力を抜き、ゆっくり深呼吸を繰り返すようにしましょう。
からだに力が入るとかえって苦しくなります。
7. 異常がなければ5分から10分で終わります（異常があれば時間がかかることがあります）。

④ 検査終了

1. マウスピースをはずし、口にたまつた唾液はティッシュなどに出します。洗面台で軽くうがいをします。検査が終わっても 1 時間ていどはのどの麻酔が効いていますので、すぐに飲んだり食べたりはできません。ファイルをお渡ししますので、それを持って受診科へいってください。
2. 検査終了 1 時間後に水を飲んでみて、むせないようでしたら、食事をとってもかまいません。

【鎮静剤（眠くなるお薬）を希望された方】

1. 内視鏡室へ入る前に処置室で腕に点滴をします。
2. 検査前に貴重品は内視鏡室のロッカーへお預けください。
3. 検査開始直前に点滴の管から鎮静剤を入れます。
4. 検査のあいだは、ひとによっては完全に眠ってしまうこともあります、意識はなくならずぼんやりする程度のこともあります。
5. 検査後は処置室で休んでいただきます。1 時間たつたらお声をかけますので、その後受診科へいっていただきます。眠気が強いときは安静時間を延長することがあります。
6. 当日はクルマやバイクの運転をお控えいただきますので、ご了承ください。
7. なお、鎮静剤使用後に休むベッドの数には限りがあります。したがって検査当日になって急に使用するのはむずかしく、希望される場合は前もって予約が必要となります。事前に主治医の先生にお申し出ください。

以上です。検査おつかれさまでした。

